

腹腔鏡下右側結腸切除術を受けられる患者様へ

NO.1

月日	氏名 (@PATIENTNAME)	担当医師 ()	受持ち看護師 ()
経過	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)
達成目標	不安なく手術を受けることができる	呼吸器症状(咳・痰・)や発熱がなく手術を受けることができる	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる
治療	採血を行います		手術後、心電図・酸素マスク フットポンプをつけます
処置	お腹の除毛を行いません	手術室で鼻から胃までチューブを入れます	朝、酸素マスク、心電図をはずし、鼻の管を抜きます
薬剤	今まで飲んでた薬があれば 医師の指示に従って下さい	手術室で鼻から胃までチューブを入れます	(ガーゼや防水テープの交換を行います)
検査		手術は、時 分頃からです	点滴があります 痛みが強い時は痛み止めを使います
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は 看護師に声をかけて下さい	トイレを済ませ、術衣に着替え、 弾性ストッキングを着用し、歩いて 手術室へ行きます。	ベットの向きを変え、足を曲げたり伸ばしたり しましょう、 
リハビリ		病棟内を歩行できます (病棟外へ出られる時は 声をお掛け下さい)	理学療法士が「ベッドサイド」での リハビリを開始します
栄養	夕食まで食事がとれます 	食事をとることはできません 水分摂取が可能な時間は 看護師が説明します 	医師診察後、水分が 開始になります
清潔	手術する部分の毛を除いた後 入浴して下さい 	手術後はタオルで身体を 拭きます 	シャワー浴をすることができます (ドレーン抜去後)
排泄	手術前と同じように 排泄することができます	麻酔がかかった後に 尿の管が入ります	診察後尿の管を抜く予定です ベッドサイドで排泄する 事ができます 蓄尿していただきます
教育 指導 説明	入院時オリエンテーションを 行います 主治医及び麻酔科医が手術や 麻酔について説明します 手術室看護師が訪問します	ご家族に 手術結果 を説明 します。 	食事を食べる時の 注意点について 看護師より説明が あります。 栄養士より食べる時の 注意点や消化の良い食事 などについて 説明があります (日程は相談します)
8日目～退院まで	常食を摂取できる 力まずに排便する ことができます	37.5度以上の発熱なく 過ごす事ができる 米飯を摂取できる	37.5度以上の発熱なく 過ごす事ができる 米飯を摂取できる

腹腔鏡下右側結腸切除術を受けられる患者様へ

月日経過	(/ /) 6日目	(/ /) 7日目	(/ /) 8日目	(/ /) 9日目	(/ /) 10日目	(/ /)~(/ /) 11日目~12日目	(/ /) 13日目	(/ /) 14日目	(/ /) 15日目
達成目標	常食を摂取できる 力まずに排便することができる	常食を摂取できる 力まずに排便することができる	常食を摂取できる 手術創が乾燥している 力まずに排便することができる	常食を摂取できる 手術創が乾燥している 力まずに排便することができる	常食を摂取できる 力まずに排便することができる	常食を6割摂取できる 力まずに排便することができる	食事を8割摂取できる 退院後の注意点を理解できる 力まずに排便することができる	食事を約8割摂取することができる 栄養指導を受け、退院後の食事について理解することができる 力まずに排便することができる	食事を8割以上摂取できる 手術創が乾燥している 力まずに排便することができる
治療 処置	6時、10時、14時、18時に検温を行いません	6時、10時、14時、18時に検温を行いません	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います
薬剤									
検査		朝、採血をします			朝、採血をします X線撮影があります				
安静度	院内自由です (病棟外へ出られる時は声をお掛け下さい)								
栄養	常食になります 	常食になります						栄養指導を行います (日程は相談します) 	
清潔			入浴できます 						
排泄									
教育 指導 説明							主治医、看護師より退院後の注意点について説明があります	栄養士より再度説明があります。退院後の食生活で心配なことがありましたら、御相談下さい。	